

疾患制御医学専攻

専攻共通科目 (疾患制御)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02EX002	医学研究概論	1	1.0	1・2	春AB	応談		疾患制御医学専攻長, 教務委員長, 新井 哲明, 橋本 幸一, 鶴嶋 英夫, 長谷川 雄一, 荒川 義弘	医学研究に必要な試薬の管理、実験廃液の分別、遺伝子組換え体の取り扱い、情報の管理、研究倫理、研究不正の防止などに関する基礎的知識を学修する。また、自らの研究に活用できる医学地区の共同利用施設や機器の利用方法を学習する。	必修 オンライン(オンデマンド型) その他の実施形態
02EX003	医学セミナー	2	3.0	1・2	通年	応談		疾患制御医学専攻長, 教務委員長	専攻の担当教員または招聘する研究者による講演を受講し、質疑応答に参加する。そして、関連分野の原著論文を読み、その研究分野の背景、研究方法、および研究成果の特徴について理解する。加えて、今後の課題、医学研究における当該研究の意義について考察し、その内容について指導教員等と討論を行い、レポートを作成して理解を深める。これにより、医学の様々な分野について詳細に議論し応用力を磨く訓練を行うとともに、科学的文章に対する理解を深め、文章作成のための技術力向上に取り組む。	必修 オンライン(オンデマンド型) その他の実施形態
02EX004	医学特殊研究	2	2.0	1・2	通年	応談		疾患制御医学専攻長, 研究指導教員	研究指導教員の個別指導によって、学位論文のテーマの設定に必要な基礎的知識の取得方法とその内容について学ぶ。また討論を通して各自の研究テーマを設定し、その研究実施に必要な研究方法を選択し、必要な申請手続きを行い、博士論文作成の見通しを立てる。	必修 その他の実施形態
02EX005	医学特別演習	2	5.0	1・2	通年	応談		疾患制御医学専攻長, 研究指導教員	各指導教員から研究指導を受け、研究結果に対する解析の仕方を学び、その意義について理解するとともに、研究成果に基づいた次の研究計画を立案し、それを実行することを繰り返し、学位論文作成につなげる。	必修 その他の実施形態
02EX007	国際実践医学研究特論	1	3.0	1 - 4	通年	応談		千葉 滋	国際共同研究に参加し、情報の交換と理解、および研究実践による先端技術と論理的思考方法を涵養する。あるいは、海外での研修を通して、海外の研究者と議論し、国際的に通用する研究を体感するとともに 研究手技・語学力を身につける。また、海外教育研究実習に参加し、英語による研究討論および実習指導を実践する。以上により、国際的に通用する研究者となるために必要なことを理解する。	英語で授業。
02EX008	臨床研究方法論	2	3.0	1・2	通年	応談		疾患制御医学専攻長, 全教員	最新の臨床研究の水準を理解するために、英文原著論文・総説を読み、その内容を説明できるようにする。臨床現場で得た研究のシーズにその論文検討で得た成果を当てはめ、自らの研究テーマにどう役立てるかを明らかにできるようにする。	
02EX009	最先端医学研究セミナー	1	3.0	1・2	通年	応談		新井 哲明, 疾患制御医学専攻全教員	ポストゲノム時代の医学生物学研究を支える新たな技術や概念について講義を受け、内容について討論を行なうとともに、関係論文を読み、レポートを作成して理解を深める。主な内容は、以下のとおりである。 (1) 哺乳動物遺伝学: 遺伝子改変マウスをはじめとした哺乳動物モデルを用いた最先端の医学生物学研究について、技術基盤と有用性を学ぶ。 (2) 医学物理・化学: 最先端の研究機器や物理化学的技術について、またこれらを駆使した最先端の研究について聴講し、医学生物学研究に必要な物理学、物理化学、化学的知識について理解する。	
02EX010	橋渡し研究マネジメント	1	2.0	1・2	秋ABC	月6,7	4F204	橋本 幸一, 鶴嶋 英夫, 根来 宏光	「医薬品や医療機器などの開発においては倫理的、科学的に適切な方法による安全性・有効性の科学的実証研究(前臨床研究、臨床研究(治験))は欠かせない。こうした状況にあって倫理的・科学的観点のみならず技術経営的観点(技術動向の理解、事業化の方向性企画・立案・検証、リスクマネジメント、知識マネジメント)に立脚し戦略的に医療・医薬・健康に関わる研究開発のマネジメントを担える人材を目指し、専門知識と関連する知識を習得する。	英語で授業。
02EX011	医科学教育実習	3	1.0	2・3	通年	応談		疾患制御医学専攻長, 研究指導教員	ティーチング・フェローとして、研究指導教員に協力し、担当する科目の目標、学習内容、評価基準の作成、授業と試験問題の作成・採点の補助を行う。研究指導教員が担当している学類または修士課程専攻の科目が、当該教育組織の人材養成の目的の中で、どのような役割を担っているかを理解し科目教育に必要な技能を修得し、教育の組織的展開の意義を理解する。教育のあり方についての理解、教育改善の推進に貢献する知識、教員としての技、態度等を修得したかについて評価を受ける。	

02EX013	外国人医学者とのコミュニケーション演習	2	2.0	1・2	秋ABC	火6	医学系 学系棟 121討 議室	我妻 ゆき子	日本人学生および留学生が国際的な医学・医療問題の英文記事や論文を読み、英語で討論を行う。	医学121で実施。 英語で授業。
02EX014	English Topics in Science I	2	1.0	1 - 4					To reinforce English vocabulary and fluency in discussing scientific concepts in a diverse array of research fields while introducing cutting edge technologies. Students will develop critical thinking and questioning skills for use in conferences, presentations and daily scientific work.	TBA 英語で授業。 2021年度開講せず。
02EX015	English Topics in Science II	2	1.0	1 - 4					To reinforce English vocabulary and fluency in discussing scientific concepts in a diverse array of research fields while introducing cutting edge technologies. Students will develop critical thinking and questioning skills for use in conferences, presentations and daily scientific work.	TBA 英語で授業。 2021年度開講せず。

専門科目(疾患制御)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02EX259	疾患制御医学特殊研究	2	2.0	1・2	通年	応談		疾患制御医学専攻長, 研究指導教員	専攻内各研究グループにおいて、実際におこなわれている研究に関して、背景、目的、方法、結果、結論、考察に関して議論し、今後の方向性を検討して、論文発表の準備をする。	必修
02EX260	臨床病態解明学特論I	1	2.0	1・2	春ABC	応談		新井 哲明, 佐藤 晋爾, 櫻井 英幸, 磯辺 智範, 太刀川 弘和, 田中 誠, 井上 貴昭, 本間 真人, 前野 哲博, 横谷 省治, 小林 裕幸, 我妻 ゆき子, 五所 正彦, 橋本 幸一, 荒川 義弘, 小柳 智義, 松阪 諭, 伊東 洋行, 宮本 憲優, 金子 新, 金田 朋洋, 久野 敦, 須丸 公雄, 館野 浩章	放射線診療・治療及び放射線健康リスク、精神医学・災害精神支援、麻酔・蘇生・集中治療・救急医学、臨床薬理学、地域医療・医学教育、臨床疫学、生物統計学、橋渡し研究、創薬研究など、臨床病態解明に関する諸分野において、学生は自らの最新の研究内容を発表し、研究結果と今後の研究方針に関する討論を行うとともに、それぞれの分野の重要な課題に関する議論を行う。授業は研究グループ単位で行う。各研究グループのキーワードは以下の通りである。特論Iでは主として各領域の基礎的側面に焦点を当てる。 ・新井哲明, 佐藤 晋爾 脳科学の進歩を踏まえた臨床精神医学の追究 ・放射線診断学 放射線医学の臨床応用の最新の知見 ・櫻井英幸 粒子線を含む放射線を利用した癌治療を学ぶ ・磯辺智範 放射線防護の最新技術と放射線健康リスクに関する最新の知見を学ぶ。 ・太刀川弘和 災害精神医療や自殺予防など災害・地域メンタルヘルスの探究 ・田中誠 麻酔・蘇生に関わる研究を遂行する能力を獲得する ・井上貴昭 初期診療から多臓器不全までテーマは広範 ・本間真人 薬物の効果・副作用と関連する薬物動態の解析方法と変動因子を学ぶ。 ・横谷省治 家庭医療・地域医療および地域専門職連携に関する研究 ・我妻ゆき子 臨床試験と臨床疫学に関する理論とその応用 ・五所正彦 生物統計学の理論および実践研究 ・橋本幸一 橋渡し研究、多施設共同臨床研究の実施およびマネジメントによる地域 ・荒川義弘 橋渡し研究、臨床研究の推進 ・高野晋吾, 小柳 智義 腫瘍生物学における橋渡し・臨床研究 ・松阪諭 橋渡し研究:臨床現場での液性診断 ・前野哲博 地域医療と医学教育に関する研究を行う ・伊東洋行(連) 創薬現場における魅力的のバイオイメージング ・成松久(連) 生体を構成する個々の分子の構造と機能が総合して機能する調節系が生命活動を規定していることを理解し、有用な生体分子を創出する事も目指す ・宮本憲優(連) 機能ゲノミクス及び薬理学的手法を用いた創薬科学研究	

02EX261	臨床病態解明学特論II	1	2.0	1・2	秋ABC	応談	<p>新井 哲明, 佐藤 晋爾, 櫻井 英幸, 磯辺 智範, 太刀川 弘和, 田中 誠, 井上 貴昭, 本間 真人, 前野 哲博, 横谷 省治, 小林 裕幸, 我妻 ゆき子, 五所 正彦, 橋本 幸一, 荒川 義弘, 小柳 智義, 松阪 諭, 伊東 洋行, 成松 久, 宮本 憲優</p>	<p>放射線診療・治療及び放射線健康リスク、精神医学・災害精神支援、麻酔・蘇生・集中治療・救急医学、臨床薬理学、地域医療・医学教育、臨床疫学、生物統計学、橋渡し研究、創薬研究など、臨床病態解明に関する諸分野において、学生は自らの最新の研究内容を発表し、研究結果と今後の研究方針に関する討論を行うとともに、それぞれの分野の重要な課題に関する議論を行う。授業は研究グループ単位で行う。各研究グループのキーワードは以下の通りである。特論Iでは主として各領域の基礎的側面に焦点を当てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新井哲明, 佐藤 晋爾 脳科学の進歩を踏まえた臨床精神医学の追究 ・放射線診断学 放射線医学の臨床応用の最新の知見 ・櫻井英幸 粒子線を含む放射線を利用した癌治療を学ぶ ・磯辺智範 放射線防護の最新技術と放射線健康リスクに関する最新の知見を学ぶ。 ・太刀川弘和 災害精神医療や自殺予防など災害・地域メンタルヘルスの探究 ・田中誠 麻酔・蘇生に関わる研究を遂行する能力を獲得する ・井上貴昭 初期診療から多臓器不全までテーマは広範 ・本間真人 薬物の効果・副作用と関連する薬物動態の解析方法と変動因子を学ぶ。 ・横谷省治 家庭医療・地域医療および地域専門職連携に関する研究 ・我妻ゆき子 臨床試験と臨床疫学に関する理論とその応用 ・五所正彦 生物統計学の理論および実践研究 ・橋本幸一 橋渡し研究、多施設共同臨床研究の実施およびマネジメントによる地域 ・荒川義弘 橋渡し研究、臨床研究の推進 ・高野晋吾, 小柳 智義 腫瘍生物学における橋渡し・臨床研究 ・松阪諭 橋渡し研究:臨床現場での液性診断 ・前野哲博 地域医療と医学教育に関する研究を行う ・伊東洋行(連) 創薬現場における魅力的のバイオイメージング ・成松久(連) 生体を構成する個々の分子の構造と機能が総合して機能する調節系が生命活動を規定していることを理解し、有用な生体分子を創出する事も目指す ・宮本憲優(連) 機能ゲノミクス及び薬理学的手法を用いた創薬科学研究
---------	-------------	---	-----	-----	------	----	--	--

02EX262	臨床病態解明学演習I	2	2.0	1・2	春ABC	応談	<p>新井 哲明, 佐藤 晋爾, 櫻井 英幸, 磯辺 智範, 太刀川 弘和, 田中 誠, 井上 貴昭, 本間 真人, 前野 哲博, 横谷 省治, 小林 裕幸, 我妻 ゆき子, 五所 正彦, 橋本 幸一, 荒川 義弘, 小柳 智義, 松阪 諭, 成松 久, 宮本 憲優, 伊東 洋行</p>	<p>放射線診療・治療及び放射線健康リスク、精神医学・災害精神支援、麻酔・蘇生・集中治療・救急医学、臨床薬理学、地域医療・医学教育、臨床疫学、生物統計学、橋渡し研究、創薬研究など、臨床病態解明に関する諸分野において、学生は自らの最新の研究内容を発表し、研究結果と今後の研究方針に関する討論を行うとともに、それぞれの分野の重要な課題に関する議論を行う。授業は研究グループ単位で行う。各研究グループのキーワードは以下の通りである。特論Iでは主として各領域の基礎的側面に焦点を当てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新井哲明, 佐藤 晋爾 脳科学の進歩を踏まえた臨床精神医学の追究 ・放射線診断学 放射線医学の臨床応用の最新の知見 ・櫻井英幸 粒子線を含む放射線を利用した癌治療を学ぶ ・磯辺智範 放射線防護の最新技術と放射線健康リスクに関する最新の知見を学ぶ。 ・太刀川弘和 災害精神医療や自殺予防など災害・地域メンタルヘルスの探究 ・田中誠 麻酔・蘇生に関わる研究を遂行する能力を獲得する ・井上貴昭 初期診療から多臓器不全までテーマは広範 ・本間真人 薬物の効果・副作用と関連する薬物動態の解析方法と変動因子を学ぶ。 ・横谷省治 家庭医療・地域医療および地域専門職連携に関する研究 ・我妻ゆき子 臨床試験と臨床疫学に関する理論とその応用 ・五所正彦 生物統計学の理論および実践研究 ・橋本幸一 橋渡し研究、多施設共同臨床研究の実施およびマネジメントによる地域 ・荒川義弘 橋渡し研究、臨床研究の推進 ・高野晋吾, 小柳 智義 腫瘍生物学における橋渡し・臨床研究 ・松阪諭 橋渡し研究:臨床現場での液性診断 ・前野哲博 地域医療と医学教育に関する研究を行う ・伊東洋行(連) 創薬現場における魅力的のバイオイメージング ・成松久(連) 生体を構成する個々の分子の構造と機能が総合して機能する調節系が生命活動を規定していることを理解し、有用な生体分子を創出する事も目指す ・宮本憲優(連) 機能ゲノミクス及び薬理学的手法を用いた創薬科学研究
---------	------------	---	-----	-----	------	----	--	--

02EX263	臨床病態解明学演習II	2	2.0	1・2	秋ABC	応談	<p>新井 哲明, 佐藤 晋爾, 櫻井 英幸, 磯辺 智範, 太刀川 弘和, 田中 誠, 井上 貴昭, 本間 真人, 前野 哲博, 横谷 省治, 小林 裕幸, 我妻 ゆき子, 五所 正彦, 橋本 幸一, 荒川 義弘, 小柳 智義, 松阪 諭, 成松 久, 宮本 憲優, 伊東 洋行</p>	<p>放射線診療・治療及び放射線健康リスク、精神医学・災害精神支援、麻酔・蘇生・集中治療・救急医学、臨床薬理学、地域医療・医学教育、臨床疫学、生物統計学、橋渡し研究、創薬研究など、臨床病態解明に関する諸分野において、学生は自らの最新の研究内容を発表し、研究結果と今後の研究方針に関する討論を行うとともに、それぞれの分野の重要な課題に関する議論を行う。授業は研究グループ単位で行う。各研究グループのキーワードは以下の通りである。特論Iでは主として各領域の基礎的側面に焦点を当てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新井哲明, 佐藤 晋爾 脳科学の進歩を踏まえた臨床精神医学の追究 ・放射線診断学 放射線医学の臨床応用の最新の知見 ・櫻井英幸 粒子線を含む放射線を利用した癌治療を学ぶ ・磯辺智範 放射線防護の最新技術と放射線健康リスクに関する最新の知見を学ぶ。 ・太刀川弘和 災害精神医療や自殺予防など災害・地域メンタルヘルスの探究 ・田中誠 麻酔・蘇生に関わる研究を遂行する能力を獲得する ・井上貴昭 初期診療から多臓器不全までテーマは広範 ・本間真人 薬物の効果・副作用と関連する薬物動態の解析方法と変動因子を学ぶ。 ・横谷省治 家庭医療・地域医療および地域専門職連携に関する研究 ・我妻ゆき子 臨床試験と臨床疫学に関する理論とその応用 ・五所正彦 生物統計学の理論および実践研究 ・橋本幸一 橋渡し研究、多施設共同臨床研究の実施およびマネジメントによる地域 ・荒川義弘 橋渡し研究、臨床研究の推進 ・高野晋吾, 小柳 智義 腫瘍生物学における橋渡し・臨床研究 ・松阪諭 橋渡し研究:臨床現場での液性診断 ・前野哲博 地域医療と医学教育に関する研究を行う ・伊東洋行(連) 創薬現場における魅力的のバイオイメージング ・成松久(連) 生体を構成する個々の分子の構造と機能が総合して機能する調節系が生命活動を規定していることを理解し、有用な生体分子を創出する事も目指す ・宮本憲優(連) 機能ゲノミクス及び薬理学的手法を用いた創薬科学研究
---------	-------------	---	-----	-----	------	----	--	--

02EX264	臨床病態解明学実験実習1	3	2.0	1・2	春ABC	応談	<p>新井 哲明, 佐藤 晋爾, 櫻井 英幸, 磯辺 智範, 太刀川 弘和, 田中 誠, 井上 貴昭, 本間 真人, 前野 哲博, 横谷 省治, 小林 裕幸, 我妻 ゆき子, 五所 正彦, 橋本 幸一, 荒川 義弘, 小柳 智義, 松阪 諭, 成松 久, 宮本 憲優, 伊東 洋行</p>	<p>放射線診療・治療及び放射線健康リスク、精神医学・災害精神支援、麻酔・蘇生・集中治療・救急医学、臨床薬理学、地域医療・医学教育、臨床疫学、生物統計学、橋渡し研究、創薬研究など、臨床病態解明に関する諸分野において、学生は自らの最新の研究内容を発表し、研究結果と今後の研究方針に関する討論を行うとともに、それぞれの分野の重要な課題に関する議論を行う。授業は研究グループ単位で行う。各研究グループのキーワードは以下の通りである。特論1では主として各領域の基礎的側面に焦点を当てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新井哲明, 佐藤 晋爾 脳科学の進歩を踏まえた臨床精神医学の追究 ・放射線診断学 放射線医学の臨床応用の最新の知見 ・櫻井英幸 粒子線を含む放射線を利用した癌治療を学ぶ ・磯辺智範 放射線防護の最新技術と放射線健康リスクに関する最新の知見を学ぶ。 ・太刀川弘和 災害精神医療や自殺予防など災害・地域メンタルヘルスの探究 ・田中誠 麻酔・蘇生に関わる研究を遂行する能力を獲得する ・井上貴昭 初期診療から多臓器不全までテーマは広範 ・本間真人 薬物の効果・副作用と関連する薬物動態の解析方法と変動因子を学ぶ。 ・横谷省治 家庭医療・地域医療および地域専門職連携に関する研究 ・我妻ゆき子 臨床試験と臨床疫学に関する理論とその応用 ・五所正彦 生物統計学の理論および実践研究 ・橋本幸一 橋渡し研究、多施設共同臨床研究の実施およびマネジメント方法を学ぶ ・荒川義弘 橋渡し研究、臨床研究の推進 ・高野晋吾, 小柳 智義 腫瘍生物学における橋渡し・臨床研究 ・松阪諭 橋渡し研究:臨床現場での液性診断 ・前野哲博 地域医療と医学教育に関する研究を行う ・伊東洋行(連) 創薬現場における魅力的のバイオイメージング ・成松久(連) 生体を構成する個々の分子の構造と機能が総合して機能する調節系が生命活動を規定していることを理解し、有用な生体分子を創出する事も目指す ・宮本憲優(連) 機能ゲノミクス及び薬理学的手法を用いた創薬科学研究
---------	--------------	---	-----	-----	------	----	--	--

02EX265	臨床病態解明学実験実習II	3	2.0	1・2	秋ABC	応談	<p>新井 哲明, 佐藤 晋爾, 櫻井 英幸, 磯辺 智範, 太刀川 弘和, 田中 誠, 井上 貴昭, 本間 真人, 前野 哲博, 横谷 省治, 小林 裕幸, 我妻 ゆき子, 五所 正彦, 橋本 幸一, 荒川 義弘, 小柳 智義, 松阪 諭, 成松 久, 宮本 憲優, 伊東 洋行</p>	<p>放射線診療・治療及び放射線健康リスク、精神医学・災害精神支援、麻酔・蘇生・集中治療・救急医学、臨床薬理学、地域医療・医学教育、臨床疫学、生物統計学、橋渡し研究、創薬研究など、臨床病態解明に関する諸分野において、学生は自らの最新の研究内容を発表し、研究結果と今後の研究方針に関する討論を行うとともに、それぞれの分野の重要な課題に関する議論を行う。授業は研究グループ単位で行う。各研究グループのキーワードは以下の通りである。特論Iでは主として各領域の基礎的側面に焦点を当てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新井哲明, 佐藤 晋爾 脳科学の進歩を踏まえた臨床精神医学の追究 ・放射線診断学 放射線医学の臨床応用の最新の知見 ・櫻井英幸 粒子線を含む放射線を利用した癌治療を学ぶ ・磯辺智範 放射線防護の最新技術と放射線健康リスクに関する最新の知見を学ぶ。 ・太刀川弘和 災害精神医療や自殺予防など災害・地域メンタルヘルスの探究 ・田中誠 麻酔・蘇生に関わる研究を遂行する能力を獲得する ・井上貴昭 初期診療から多臓器不全までテーマは広範 ・本間真人 薬物の効果・副作用と関連する薬物動態の解析方法と変動因子を学ぶ。 ・横谷省治 家庭医療・地域医療および地域専門職連携に関する研究 ・我妻ゆき子 臨床試験と臨床疫学に関する理論とその応用 ・五所正彦 生物統計学の理論および実践研究 ・橋本幸一 橋渡し研究、多施設共同臨床研究の実施およびマネジメント方法を学ぶ ・荒川義弘 橋渡し研究、臨床研究の推進 ・高野晋吾, 小柳 智義 腫瘍生物学における橋渡し・臨床研究 ・松阪諭 橋渡し研究:臨床現場での液性診断 ・前野哲博 地域医療と医学教育に関する研究を行う ・伊東洋行(連) 創薬現場における魅力的のバイオイメージング ・成松久(連) 生体を構成する個々の分子の構造と機能が総合して機能する調節系が生命活動を規定していることを理解し、有用な生体分子を創出する事も目指す ・宮本憲優(連) 機能ゲノミクス及び薬理学的手法を用いた創薬科学研究
---------	---------------	---	-----	-----	------	----	--	--

02EX270	臨床外科学特論I	1	2.0	1・2	春ABC	応談	<p>西山 博之, 小田 竜也, 平松 祐司, 山崎 正志, 佐藤 幸夫, 増本 幸二, 関堂 充, 原 尚人, 佐藤 豊実, 濱田 洋実, 小松 洋治, 松丸 祐司, 大鹿 哲郎, 田淵 経司, 武川 寛樹, 柳川 徹, 羽田 康司, 鈴木 保之</p>	<p>泌尿生殖器学、消化器外科学、循環器外科学、呼吸器外科学、整形外科学、小児外科学、形成外科学、内分泌外科学、産婦人科学、脳神経外科学、眼科学、耳鼻咽喉科学、口腔外科学など、臨床外科学に関する諸分野において、学生は自らの最新の研究内容を発表し、研究結果と今後の研究方針に関する討論を行うとともに、それぞれの分野の重要な課題に関する議論を行う。授業は研究グループ単位で行う。各研究グループのキーワードは以下の通りである。特論Iでは主として各領域の基礎的側面に焦点を当てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小田竜也 癌の特性と治療、臓器再生研究と創傷治療 ・平松祐司 循環機能研究に必要な知識と技能を身に付け、臨床研究者として国際的に通用する能力を獲得する ・山崎正志 運動器機能の重要性、および病態と治療を解説する。従来の外科的手法のみならず、分子生物学的手法や組織工学的手法を学ぶ ・佐藤幸夫 市村秀夫 増加する肺癌の現況その低侵襲手術につき解説 ・増本幸二 先天性難治疾患の原因の解明と治療法について概説する ・西山博之 泌尿生殖器に関する疾患と治療を概説する ・関堂充 外傷・腫瘍・先天異常などによる変形・欠損に対する外観および機能再建 ・原尚人 エラストグラフィを用いて乳腺、内分泌腫瘍の組織弾性について学ぶ。 ・佐藤豊実 濱田洋実 女性生殖器を中心とした正常と異常を学び、研究・実験を行う ・小松洋治 脳神経外科分野の新規診断・治療の研究開発 ・松丸祐司 脳卒中を理解し、その基礎および臨床研究を行う ・大鹿哲郎 視機能と視覚の基礎を学び理解を深める ・田淵経司 蝸牛機能に関する分子生物学的、電気生理学的手法を用いた研究について講義・演習・実験を行う ・武川寛樹 口腔腫瘍の実験構築・データ解釈・討論 ・柳川徹 口腔疾患の分子生物学的解析・臨床統計学的解析を行う
---------	----------	---	-----	-----	------	----	--	---

02EX271	臨床外科学特論II	1	2.0	1・2	秋ABC	応談	<p>西山 博之, 小田 竜也, 平松 祐司, 山崎 正志, 佐藤 幸夫, 増本 幸二, 関堂 充, 原 尚 人, 佐藤 豊実, 濱 田 洋実, 小松 洋 治, 松丸 祐司, 大 鹿 哲郎, 田淵 経 司, 武川 寛樹, 柳 川 徹</p>	<p>泌尿生殖器学、消化器外科学、循環器外科学、呼吸器外科学、整形外科学、小児外科学、形成外科学、内分泌外科学、産婦人科学、脳神経外科学、眼科学、耳鼻咽喉科学、口腔外科学など、臨床外科学に関する諸分野において、学生は自らの最新の研究内容を発表し、研究結果と今後の研究方針に関する討論を行うとともに、それぞれの分野の重要な課題に関する議論を行う。授業は研究グループ単位で行う。各研究グループのキーワードは以下の通りである。特論IIでは主として各領域の臨床応用に焦点を当てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小田竜也 癌の特性と治療、臓器再生研究と創傷治療 ・平松祐司 循環機能研究に必要な知識と技能を身に付け、臨床研究者として国際的に通用する能力を獲得する ・山崎正志 運動器機能の重要性、および病態と治療を解説する。従来の外科的手法のみならず、分子生物学的手法や組織工学的手法を学ぶ ・佐藤幸夫 市村秀夫 増加する肺癌の現況その低侵襲手術につき解説 ・増本幸二 先天性難治疾患の原因の解明と治療法について概説する ・西山博之 泌尿生殖器に関する疾患と治療を概説する ・関堂充 外傷・腫瘍・先天異常などによる変形・欠損に対する外観および機能再建 ・原尚人 エラストグラフィを用いて乳腺、内分泌腫瘍の組織弾性について学ぶ。 ・佐藤豊実 濱田洋実 女性生殖器を中心とした正常と異常を学び、研究・実験を行う ・小松洋治 脳神経外科分野の新規診断・治療の研究開発 ・松丸祐司 脳卒中を理解し、その基礎および臨床研究を行う ・大鹿哲郎 視機能と視覚の基礎を学び理解を深める ・田淵経司 蝸牛機能に関する分子生物学的、電気生理学的手法を用いた研究について講義・演習・実験を行う ・武川寛樹 口腔腫瘍の実験構築・データ解釈・討論 ・柳川徹 口腔疾患の分子生物学的解析・臨床統計学的解析を行う
---------	-----------	---	-----	-----	------	----	--	---

02EX272	臨床外科学演習I	2	2.0	1・2	春ABC	応談	<p>西山 博之, 小田 竜也, 平松 祐司, 山崎 正志, 佐藤 幸夫, 増本 幸二, 関堂 充, 原 尚 人, 佐藤 豊実, 濱 田 洋実, 小松 洋 治, 松丸 祐司, 大 鹿 哲郎, 田淵 経 司, 武川 寛樹, 柳 川 徹</p>	<p>泌尿生殖器学、消化器外科学、循環器外科学、呼吸器外科学、整形外科、小児外科学、形成外科学、内分泌外科学、産婦人科学、脳神経外科学、眼科学、耳鼻咽喉科学、口腔科学など、臨床外科学に関する諸分野において、学生は自らの最新の研究内容を発表し、研究結果と今後の研究方針に関する討論を行うとともに、それぞれの分野の重要な課題に関する議論を行う。授業は研究グループ単位で行う。各研究グループのキーワードは以下の通りである。演習Iでは主として各領域の基礎的側面に焦点を当てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小田竜也 癌の特性と治療、臓器再生研究と創傷治療 ・平松祐司 循環機能研究に必要な知識と技能を身に付け、臨床研究者として国際的に通用する能力を獲得する ・山崎正志 運動器機能の重要性、および病態と治療を解説する。従来の外科的手法のみならず、分子生物学的手法や組織工学的手法を学ぶ ・佐藤幸夫 市村秀夫 増加する肺癌の現況その低侵襲手術につき解説 ・増本幸二 先天性難治疾患の原因の解明と治療法について概説する ・西山博之 泌尿生殖器に関する疾患と治療を概説する ・関堂充 外傷・腫瘍・先天異常などによる変形・欠損に対する外観および機能再建 ・原尚人 エラストグラフィを用いて乳腺、内分泌腫瘍の組織弾性について学ぶ。 ・佐藤豊実 濱田洋実 女性生殖器を中心とした正常と異常を学び、研究・実験を行う ・小松洋治 脳神経外科分野の新規診断・治療の研究開発 ・松丸祐司 脳卒中を理解し、その基礎および臨床研究を行う ・大鹿哲郎 視機能と視覚の基礎を学び理解を深める ・田淵経司 蝸牛機能に関する分子生物学的、電気生理学的手法を用いた研究について講義・演習・実験を行う ・武川寛樹 口腔腫瘍の実験構築・データ解釈・討論 ・柳川徹 口腔疾患の分子生物学的解析・臨床統計学的解析を行う
---------	----------	---	-----	-----	------	----	--	---

02EX273	臨床外科学演習II	2	2.0	1・2	秋ABC	応談	<p>西山 博之, 小田 竜也, 平松 祐司, 山崎 正志, 佐藤 幸夫, 増本 幸二, 関堂 充, 原 尚人, 佐藤 豊実, 濱田 洋実, 小松 洋治, 松丸 祐司, 大鹿 哲郎, 田淵 経司, 武川 寛樹, 柳川 徹</p>	<p>泌尿生殖器学、消化器外科学、循環器外科学、呼吸器外科学、整形外科学、小児外科学、形成外科学、内分泌外科学、産婦人科学、脳神経外科学、眼科学、耳鼻咽喉科学、口腔外科学など、臨床外科学に関する諸分野において、学生は自らの最新の研究内容を発表し、研究結果と今後の研究方針に関する討論を行うとともに、それぞれの分野の重要な課題に関する議論を行う。授業は研究グループ単位で行う。各研究グループのキーワードは以下の通りである。演習IIでは主として各領域の臨床応用の側面に焦点を当てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小田竜也 癌の特性と治療、臓器再生研究と創傷治療 ・平松祐司 循環機能研究に必要な知識と技能を身に付け、臨床研究者として国際的に通用する能力を獲得する ・山崎正志 運動器機能の重要性、および病態と治療を解説する。従来の外科的手法のみならず、分子生物学的手法や組織工学的手法を学ぶ ・佐藤幸夫 市村秀夫 増加する肺癌の現況その低侵襲手術につき解説 ・増本幸二 先天性難治疾患の原因の解明と治療法について概説する ・西山博之 泌尿生殖器に関する疾患と治療を概説する <ul style="list-style-type: none"> ・関堂充 外傷・腫瘍・先天異常などによる変形・欠損に対する外観および機能再建 ・原尚人 エラストグラフィを用いて乳腺、内分泌腫瘍の組織弾性について学ぶ。 ・佐藤豊実 濱田洋実 女性生殖器を中心とした正常と異常を学び、研究・実験を行う ・小松洋治 脳神経外科分野の新規診断・治療の研究開発 ・松丸祐司 脳卒中を理解し、その基礎および臨床研究を行う ・大鹿哲郎 視機能と視覚の基礎を学び理解を深める ・田淵経司 蝸牛機能に関する分子生物学的、電気生理学的手法を用いた研究について講義・演習・実験を行う ・武川寛樹 口腔腫瘍の実験構築・データ解釈・討論 ・柳川徹 口腔疾患の分子生物学的解析・臨床統計学的解析を行う
02EX274	臨床外科学実験実習I	3	2.0	1・2	春ABC	応談	<p>西山 博之, 小田 竜也, 平松 祐司, 山崎 正志, 佐藤 幸夫, 増本 幸二, 関堂 充, 原 尚人, 佐藤 豊実, 濱田 洋実, 松村 明, 小松 洋治, 松丸 祐司, 大鹿 哲郎, 田淵 経司, 武川 寛樹, 柳川 徹</p>	<p>泌尿生殖器学、消化器外科学、循環器外科学、呼吸器外科学、整形外科学、小児外科学、形成外科学、内分泌外科学、産婦人科学、脳神経外科学、眼科学、耳鼻咽喉科学、口腔外科学、について関連する実験の方法と原理について実践的に学ぶ。各研究グループのキーワードは以下の通りである。I, IIでは異なる手法を習得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小田竜也 癌の特性と治療、臓器再生研究と創傷治療 ・平松祐司 循環機能研究に必要な知識と技能を身に付け、臨床研究者として国際的に通用する能力を獲得する ・山崎正志 運動器機能の重要性、および病態と治療を解説する。従来の外科的手法のみならず、分子生物学的手法や組織工学的手法を学ぶ ・佐藤幸夫 市村秀夫 増加する肺癌の現況その低侵襲手術につき解説 ・増本幸二 先天性難治疾患の原因の解明と治療法について概説する ・西山博之 泌尿生殖器に関する疾患と治療を概説する <ul style="list-style-type: none"> ・関堂充 外傷・腫瘍・先天異常などによる変形・欠損に対する外観および機能再建 ・原尚人 エラストグラフィを用いて乳腺、内分泌腫瘍の組織弾性について学ぶ。 ・佐藤豊実 濱田洋実 女性生殖器を中心とした正常と異常を学び、研究・実験を行う ・小松洋治 脳神経外科分野の新規診断・治療の研究開発 ・松丸祐司 脳卒中を理解し、その基礎および臨床研究を行う ・大鹿哲郎 視機能と視覚の基礎を学び理解を深める ・田淵経司 蝸牛機能に関する分子生物学的、電気生理学的手法を用いた研究について講義・演習・実験を行う ・武川寛樹 口腔腫瘍の実験構築・データ解釈・討論 ・柳川徹 口腔疾患の分子生物学的解析・臨床統計学的解析を行う

02EX275	臨床外科学実験実習II	3	2.0	1・2	秋ABC	応談	<p>西山 博之, 小田 竜也, 平松 祐司, 山崎 正志, 佐藤 幸夫, 増本 幸二, 関堂 充, 原 尚人, 佐藤 豊実, 濱田 洋美, 小松 洋治, 松丸 祐司, 大鹿 哲郎, 田淵 司, 武川 寛樹, 柳川 徹</p>	<p>泌尿生殖器学, 消化器外科学, 循環器外科学, 呼吸器外科学, 整形外科, 小児外科学, 形成外科学, 内分泌外科学, 産婦人科学, 脳神経外科学, 眼科学, 耳鼻咽喉科学, 口腔外科学, について関連する実験の方法と原理について実践的に学ぶ。各研究グループのキーワードは以下の通りである。I, IIでは異なる手法を習得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小田竜也 癌の特性と治療、臓器再生研究と創傷治療 ・平松祐司 循環機能研究に必要な知識と技能を身に付け、臨床研究者として国際的に通用する能力を獲得する ・山崎正志 運動器機能の重要性、および病態と治療を解説する。従来の外科的手法のみならず、分子生物学的手法や組織工学的手法を学ぶ ・佐藤幸夫 市村秀夫 増加する肺癌の現況その低侵襲手術につき解説 ・増本幸二 先天性難治疾患の原因の解明と治療法について概説する ・西山博之 泌尿生殖器に関する疾患と治療を概説する ・関堂充 外傷・腫瘍・先天異常などによる変形・欠損に対する外科および機能再建 ・原尚人 エラストグラフィを用いて乳腺、内分泌腫瘍の組織弾性について学ぶ。 ・佐藤豊実 濱田洋美 女性生殖器を中心とした正常と異常を学び、研究・実験を行う ・小松洋治 脳神経外科分野の新規診断・治療の研究開発 ・松丸祐司 脳卒中を理解し、その基礎および臨床研究を行う ・大鹿哲郎 視機能と視覚の基礎を学び理解を深める ・田淵経司 蝸牛機能に関する分子生物学的、電気生理学的手法を用いた研究について講義・演習・実験を行う ・武川寛樹 口腔腫瘍の実験構築・データ解釈・討論 ・柳川徹 口腔疾患の分子生物学的解析・臨床統計学的解析を行う
02EX280	臨床内科学特論I	1	2.0	1・2	春ABC	応談	<p>千葉 滋, 正田 純一, 大原 信, 青沼 和隆, 家田 真樹, 小池 朗, 野上 昭彦, 本間 寛, 宮内 卓, 檜澤 伸之, 石井 幸雄, 佐藤 浩昭, 玉岡 晃, 山縣 邦弘, 島野 仁, 野牛 宏晃, 松坂 賢, 川上 康, 高田 英俊, 堀米 仁志, 関根 郁夫, 人見 重美, 金子 新, 乃村 俊史, 鈴木 広道</p>	<p>血液内科学, 消化器内科学, 循環器内科学, 呼吸器内科学, 神経内科学, 腎臓内科学, 膠原病内科学, 代謝内分泌内科学, 臨床検査学, 皮膚科学, 小児科学, 感染症内科学, 臨床腫瘍学, について、学生は自らの最新の研究成果を発表し、研究結果と今後の研究方針に関する討論を行うとともに、内科学分野の重要な課題に関する議論を行う。授業は研究グループ単位で行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉滋 正常造血及び造血器腫瘍の分子基盤 ・正田純一 消化器疾患の病態解明と治療法の開発治療など ・谷中昭典 H. pylori及び酸関連疾患の病態と治療、消化管悪性腫瘍の疫学と予防 ・大原 信 医療情報マネジメント学 ・青沼和隆 循環器疾患の病態について電気生理学的、血行動態学的ならびに分子生物学的アプローチにより解析し、新たな治療法を開発する ・家田真樹 循環器疾患の病態解明と心臓再生 ・小池朗 心疾患における運動生理と心臓リハビリテーションについて ・野上昭彦 不整脈の新たな診断・治療法の開発 ・本間寛 臨床応用を目標に心筋と血管の再生医療、生理的ペースメーカー細胞移植の開発の研究を行う ・宮内卓 臨床応用を目標に心筋と血管への新しいエンドセリン遮断薬の開発研究を行う ・檜澤伸之 主要呼吸疾患の病態を分子細胞生物学・石井幸雄 学的立場から討論・実験を行う ・佐藤浩昭 主要呼吸疾患(慢性閉塞性肺疾患、 ・玉岡晃 神経変性疾患の分子病態に関する研究 ・山縣邦弘 腎臓疾患の発症進展機構と治療法、予防法の研究 ・膠原病内科学 免疫難病発症の分子機構解明および新規分子標的治療戦略の開発 ・島野仁 野牛宏晃 松坂 賢 病態メカニズムを念頭に考えることの重要性 ・川上康 分子生物学的手法の検査と循環器生理検査 ・皮膚科学 皮膚・皮膚疾患を分子生物学、細胞生物学、免疫学などの視点から総合的に病態を研究し、新しい診断・治療法を開発する。 ・高田英俊 小児遺伝性疾患に対する診断・治療法の開発 ・堀米仁志 発生・発達過程の解析と小児疾患の治療開発 ・関根郁夫 悪性腫瘍の原因、病態、診断、治療に関する研究 ・人見重美 薬剤耐性菌の耐性機序の解明、病院感染の疫学

02EX281	臨床内科学特論II	1	2.0	1・2	秋ABC	応談	<p>千葉 滋, 正田 純一, 大原 信, 青沼和隆, 家田 真樹, 小池 朗, 野上 昭彦, 本間 覚, 宮内 卓, 檜澤 伸之, 石井 幸雄, 佐藤 浩昭, 玉岡 晃, 山縣邦弘, 島野 仁, 野牛 宏晃, 松坂 賢, 川上 康, 高田 英俊, 堀米 仁志, 人見 重美, 関根 郁夫, 金子 新, 乃村 俊史, 鈴木 広道</p>	<p>血液内科学、消化器内科学、循環器内科学、呼吸器内科学、神経内科学、腎臓内科学、膠原病内科学、代謝内分泌内科学、臨床検査学、皮膚科学、小児科学、感染症内科学、臨床腫瘍学、について、学生は自らの最新の研究成果を発表し、研究結果と今後の研究方針に関する討論を行うとともに、内科学分野の重要な課題に関する議論を行う。授業は研究グループ単位で行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉 滋 正常造血及び造血器腫瘍の分子基盤 ・正田 純一 消化器疾患の病態解明と治療法の開発治療など ・谷中昭典 H. pylori 及び酸関連疾患の病態と治療、消化管悪性腫瘍の疫学と予防 ・大原 信 医療情報マネジメント学 ・青沼和隆 循環器疾患の病態について電気生理学的、血行動態学的ならびに分子生物学的アプローチにより解析し、新たな治療法を開発する ・家田真樹 循環器疾患の病態解明と心臓再生 ・小池朗 心疾患における運動生理と心臓リハビリテーションについて ・野上昭彦 不整脈の新たな診断・治療法の開発 ・本間覚 臨床応用を目標に心筋と血管の再生医療、生理的ペースメーカー細胞移植の開発の研究を行う ・宮内卓 臨床応用を目標に心筋と血管への新しいエンドセリン遮断薬の開発研究を行う ・檜澤伸之 主要呼吸疾患の病態を分子細胞生物学 ・石井幸雄 学的立場から討論・実験を行う ・佐藤浩昭 主要呼吸疾患(慢性閉塞性肺疾患、 ・玉岡晃 神経変性疾患の分子病態に関する研究 ・山縣邦弘 腎臓疾患の発症進展機構と治療法、予防法の研究 ・膠原病内科学 免疫難病発症の分子機構解明および新規分子標的治療戦略の開発 ・島野仁 野牛宏晃 松坂 賢 病態メカニズムを念頭に考えることの重要性 ・川上康 分子生物学的手法の検査と循環器生理検査 ・皮膚科学 皮膚・皮膚疾患を分子生物学、細胞生物学、免疫学などの視点から総合的に病態を研究し、新しい診断・治療法を開発する。 ・高田英俊 小児遺伝性疾患に対する診断・治療法の開発 ・堀米仁志 発生・発達過程の解析と小児疾患の治療開発 ・関根郁夫 悪性腫瘍の原因、病態、診断、治療に関する研究 ・人見重美 薬剤耐性菌の耐性機序の解明、病院感染の疫学
---------	-----------	---	-----	-----	------	----	--	---

02EX282	臨床内科学演習I	2	2.0	1・2	春ABC	応談	<p>千葉 滋, 正田 純一, 大原 信, 青沼和隆, 家田 真樹, 小池 朗, 野上 昭彦, 本間 覚, 宮内卓, 檜澤 伸之, 石井 幸雄, 佐藤 浩昭, 玉岡 晃, 山縣邦弘, 島野 仁, 野牛 宏晃, 松坂 賢, 川上 康, 高田英俊, 堀米 仁志, 人見 重美, 関根 郁夫</p>	<p>血液内科学、消化器内科学、循環器内科学、呼吸器内科学、神経内科学、腎臓内科学、膠原病内科学、代謝内分泌内科学、臨床検査学、皮膚科学、小児科学、感染症内科学、臨床腫瘍学、について、学生は自らの最新の研究成果を発表し、研究結果と今後の研究方針に関する討論を行うとともに、内科学分野の重要な課題に関する議論を行う。授業は研究グループ単位で行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉 滋 正常造血及び造血器腫瘍の分子基盤 ・正田 純一 消化器疾患の病態解明と治療法の開発治療など ・谷中 昭典 H. pylori 及び酸関連疾患の病態と治療、消化管悪性腫瘍の疫学と予防 ・大原 信 医療情報マネジメント学 ・青沼和隆 循環器疾患の病態について電気生理学的、血行動態学的ならびに分子生物学的アプローチにより解析し、新たな治療法を開発する ・家田 真樹 循環器疾患の病態解明と心臓再生 ・小池 朗 心疾患における運動生理と心臓リハビリテーションについて ・野上 昭彦 不整脈の新たな診断・治療法の開発 ・本間 覚 臨床応用を目標に心筋と血管の再生医療、生理的ペースメーカー細胞移植の開発の研究を行う ・宮内 卓 臨床応用を目標に心筋と血管への新しいエンドセリン遮断薬の開発研究を行う ・檜澤 伸之 主要呼吸器疾患の病態を分子細胞生物学 ・石井 幸雄 学的立場から討論・実験を行う ・佐藤 浩昭 主要呼吸器疾患(慢性閉塞性肺疾患、 ・玉岡 晃 神経変性疾患の分子病態に関する研究 ・山縣 邦弘 腎臓疾患の発症進展機構と治療法、予防法の研究 ・膠原病内科学 免疫難病発症の分子機構解明および新規分子標的治療戦略の開発 ・島野 仁 野牛 宏晃 松坂 賢 病態メカニズムを念頭に考えることの重要性 ・川上 康 分子生物学的手法の検査と循環器生理検査 ・皮膚科学 皮膚・皮膚疾患を分子生物学、細胞生物学、免疫学などの視点から総合的に病態を研究し、新しい診断・治療法を開発する。 ・高田 英俊 小児遺伝性疾患に対する診断・治療法の開発 ・堀米 仁志 発生・発達過程の解析と小児疾患の治療開発 ・関根 郁夫 悪性腫瘍の原因、病態、診断、治療に関する研究 ・人見 重美 薬剤耐性菌の耐性機序の解明、病院感染の疫学
---------	----------	---	-----	-----	------	----	--	---

02EX283	臨床内科学演習II	2	2.0	1・2	秋ABC	応談	<p>千葉 滋, 正田 純一, 大原 信, 青沼和隆, 家田 真樹, 小池 朗, 野上 昭彦, 本間 覚, 宮内 卓, 檜澤 伸之, 石井 幸雄, 佐藤 浩昭, 玉岡 晃, 山縣 邦弘, 島野 仁, 野牛 宏晃, 松坂 賢, 川上 康, 高田 英俊, 堀米 仁志, 人見 重美, 関根 郁夫</p>	<p>血液内科学、消化器内科学、循環器内科学、呼吸器内科学、神経内科学、腎臓内科学、膠原病内科学、代謝内分泌内科学、臨床検査学、皮膚科学、小児科学、感染症内科学、臨床腫瘍学、について、学生は自らの最新の研究成果を発表し、研究結果と今後の研究方針に関する討論を行うとともに、内科学分野の重要な課題に関する議論を行う。授業は研究グループ単位で行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉 滋 正常造血及び造血器腫瘍の分子基盤 ・正田 純一 消化器疾患の病態解明と治療法の開発治療など ・谷中 昭典 H. pylori 及び酸関連疾患の病態と治療、消化管悪性腫瘍の疫学と予防 ・大原 信 医療情報マネジメント学 ・青沼和隆 循環器疾患の病態について電気生理学的、血行動態学的ならびに分子生物学的アプローチにより解析し、新たな治療法を開発する ・家田 真樹 循環器疾患の病態解明と心臓再生 ・小池 朗 心疾患における運動生理と心臓リハビリテーションについて ・野上 昭彦 不整脈の新たな診断・治療法の開発 ・本間 覚 臨床応用を目標に心筋と血管の再生医療、生理的ペースメーカー細胞移植の開発の研究を行う ・宮内 卓 臨床応用を目標に心筋と血管への新しいエンドセリン遮断薬の開発研究を行う ・檜澤 伸之 主要呼吸疾患の病態を分子細胞生物学 ・石井 幸雄 学的立場から討論・実験を行う ・佐藤 浩昭 主要呼吸疾患(慢性閉塞性肺疾患、 ・玉岡 晃 神経変性疾患の分子病態に関する研究 ・山縣 邦弘 腎臓疾患の発症進展機構と治療法、予防法の研究 ・膠原病内科学 免疫難病発症の分子機構解明および新規分子標的治療戦略の開発 ・島野 仁 野牛 宏晃 松坂 賢 病態メカニズムを念頭に考えることの重要性 ・川上 康 分子生物学的手法の検査と循環器生理検査 ・皮膚科学 皮膚・皮膚疾患を分子生物学、細胞生物学、免疫学などの視点から総合的に病態を研究し、新しい診断・治療法を開発する。 ・高田 英俊 小児遺伝性疾患に対する診断・治療法の開発 ・堀米 仁志 発生・発達過程の解析と小児疾患の治療開発 ・関根 郁夫 悪性腫瘍の原因、病態、診断、治療に関する研究 ・人見 重美 薬剤耐性菌の耐性機序の解明、病院感染の疫学
---------	-----------	---	-----	-----	------	----	---	---

02EX284	臨床内科学実験実習I	3	2.0	1・2	春ABC	応談	<p>千葉 滋, 正田 純一, 大原 信, 青沼和隆, 家田 真樹, 小池 朗, 野上 昭彦, 本間 覚, 宮内 卓, 檜澤 伸之, 石井 幸雄, 佐藤 浩昭, 玉岡 晃, 山縣 邦弘, 島野 仁, 野牛 宏晃, 松坂 賢, 川上 康, 高田 英俊, 堀米 仁志, 人見 重美, 関根 郁夫</p>	<p>血液内科学、消化器内科学、循環器内科学、呼吸器内科学、神経内科学、腎臓内科学、膠原病内科学、代謝内分泌内科学、臨床検査学、皮膚科学、小児科学、感染症内科学、臨床腫瘍学、について、学生は自らの最新の研究成果を発表し、研究結果と今後の研究方針に関する討論を行うとともに、内科学分野の重要な課題に関する議論を行う。授業は研究グループ単位で行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉 滋 正常造血及び造血器腫瘍の分子基盤 ・正田 純一 消化器疾患の病態解明と治療法の開発治療など ・谷中 昭典 H. pylori 及び酸関連疾患の病態と治療、消化管悪性腫瘍の疫学と予防 ・大原 信 医療情報マネジメント学 ・青沼和隆 循環器疾患の病態について電気生理学的、血行動態学的ならびに分子生物学的アプローチにより解析し、新たな治療法を開発する ・家田 真樹 循環器疾患の病態解明と心臓再生 ・小池 朗 心疾患における運動生理と心臓リハビリテーションについて ・野上 昭彦 不整脈の新たな診断・治療法の開発 ・本間 覚 臨床応用を目標に心筋と血管の再生医療、生理的ペースメーカー細胞移植の開発の研究を行う ・宮内 卓 臨床応用を目標に心筋と血管への新しいエンドセリン遮断薬の開発研究を行う ・檜澤 伸之 主要呼吸器疾患の病態を分子細胞生物学 ・石井 幸雄 学的立場から討論・実験を行う ・佐藤 浩昭 主要呼吸器疾患(慢性閉塞性肺疾患、 ・玉岡 晃 神経変性疾患の分子病態に関する研究 ・山縣 邦弘 腎臓疾患の発症進展機構と治療法、予防法の研究 ・膠原病内科学 免疫難病発症の分子機構解明および新規分子標的治療戦略の開発 ・島野 仁 野牛 宏晃 松坂 賢 病態メカニズムを念頭に考えることの重要性 ・川上 康 分子生物学的手法の検査と循環器生理検査 ・皮膚科学 皮膚・皮膚疾患を分子生物学、細胞生物学、免疫学などの視点から総合的に病態を研究し、新しい診断・治療法を開発する。 ・高田 英俊 小児遺伝性疾患に対する診断・治療法の開発 ・堀米 仁志 発生・発達過程の解析と小児疾患の治療開発 ・関根 郁夫 悪性腫瘍の原因、病態、診断、治療に関する研究 ・人見 重美 薬剤耐性菌の耐性機序の解明、病院感染の疫学
---------	------------	---	-----	-----	------	----	---	---

02EX285	臨床内科学実験実習II	3	2.0	1・2	秋ABC	応談	<p>血液内科学、消化器内科学、循環器内科学、呼吸器内科学、神経内科学、腎臓内科学、膠原病内科学、代謝内分泌内科学、臨床検査学、皮膚科学、小児科学、感染症内科学、臨床腫瘍学、について、学生は自らの最新の研究成果を発表し、研究結果と今後の研究方針に関する討論を行うとともに、内科学分野の重要な課題に関する議論を行う。授業は研究グループ単位で行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉滋 正常造血及び造血器腫瘍の分子基盤 ・正田純一 消化器疾患の病態解明と治療法の開発治療など ・谷中昭典 H.pylori及び酸関連疾患の病態と治療、消化管悪性腫瘍の疫学と予防 ・大原 信 医療情報マネジメント学 ・青沼和隆 循環器疾患の病態について電気生理学的、血行動態学的ならびに分子生物学的アプローチにより解析し、新たな治療法を開発する ・家田真樹 循環器疾患の病態解明と心臓再生 ・小池朗 心疾患における運動生理と心臓リハビリテーションについて ・野上昭彦 不整脈の新たな診断・治療法の開発 ・本間覚 臨床応用を目標に心筋と血管の再生医療、生理的ペースメーカー細胞移植の開発の研究を行う ・宮内卓 臨床応用を目標に心筋と血管への新しいエンドセリン遮断薬の開発研究を行う ・檜澤伸之 主要呼吸疾患の病態を分子細胞生物学・石井幸雄 学的立場から討論・実験を行う ・佐藤浩昭 主要呼吸疾患(慢性閉塞性肺疾患、 ・玉岡晃 神経変性疾患の分子病態に関する研究 ・山縣邦弘 腎臓疾患の発症進展機構と治療法、予防法の研究 ・膠原病内科学 免疫難病発症の分子機構解明および新規分子標的治療戦略の開発 ・島野仁 野牛宏晃 松坂 賢 病態メカニズムを念頭に考えることの重要性 ・川上康 分子生物学的手法の検査と循環器生理検査 ・皮膚科学 皮膚・皮膚疾患を分子生物学、細胞生物学、免疫学などの視点から総合的に病態を研究し、新しい診断・治療法を開発する。 ・高田英俊 小児遺伝性疾患に対する診断・治療法の開発 ・堀米仁志 発生・発達過程の解析と小児疾患の治療開発 ・関根郁夫 悪性腫瘍の原因、病態、診断、治療に関する研究 ・人見重美 薬剤耐性菌の耐性機序の解明、病院感染の疫学
02EX293	社会医学特論I	1	2.0	1・2	春ABC	応談	<p>社会医学研究における基本概念、知識および技術を修得し、その成果を相互発表・質疑応答に対応することにより、修得の程度を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山岸良匡 生活習慣病の予防・疫学の方法論に関する文献を精読し、社会健康医学研究の実践的な研究手法を学ぶ。 ・齋藤環 メンタルヘルスの現状や課題に関する文献を読み、適宜事例も参照しながら、その内容について検討し評価する。 ・田宮菜奈子 最新のテキストを用いてヘルスサービスリサーチ遂行のための基本的知識・技術を修得する ・近藤正英 経済学を中心とした社会科学のアプローチを保健医療政策学へ応用する力をテキスト購読などを通じて涵養する
02EX294	社会医学特論II	1	2.0	1・2	秋ABC	応談	<p>社会医学研究における基本概念、知識および技術を修得し、その成果を相互発表・質疑応答に対応することにより、修得の程度を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山岸良匡 生活習慣病の予防・疫学の方法論に関する文献を精読し、社会健康医学研究の実践的な研究手法を学ぶ。 ・齋藤環 メンタルヘルスの現状や課題に関する文献を読み、適宜事例も参照しながら、その内容について検討し評価する。 ・田宮菜奈子 最新のテキストを用いてヘルスサービスリサーチ遂行のための基本的知識・技術を修得する ・近藤正英 経済学を中心とした社会科学のアプローチを保健医療政策学へ応用する力をテキスト購読などを通じて涵養する

02EX295	社会医学演習I	2	2.0	1・2	春ABC	応談		山岸 良匡, 齋藤環, 田宮 菜奈子, 近藤 正英	<p>社会医学研究における基本概念、知識および技術を修得し、その成果を相互発表・質疑応答に対応することにより、修得の程度を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山岸良匡 生活習慣病の予防・疫学の実践的な分析手法を学ぶ。 ・齋藤環 メンタルヘルスの現状や課題に関する文献を読み、適宜事例も参照しながら、その内容について検討し評価する。 ・田宮菜奈子 最新のテキストを用いてヘルスサービスマネジメント遂行のための基本的知識・技術を修得する ・近藤正英 経済学を中心とした社会科学のアプローチを保健医療政策学へ応用する力をテキスト購読などを通じて涵養する 	
02EX296	社会医学演習II	2	2.0	1・2	秋ABC	応談		山岸 良匡, 齋藤環, 田宮 菜奈子, 近藤 正英	<p>社会医学研究における基本概念、知識および技術を修得し、その成果を相互発表・質疑応答に対応することにより、修得の程度を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山岸良匡 生活習慣病の予防・疫学の実践的な分析手法を学ぶ。 ・齋藤環 メンタルヘルスの現状や課題に関する文献を読み、適宜事例も参照しながら、その内容について検討し評価する。 ・田宮菜奈子 最新のテキストを用いてヘルスサービスマネジメント遂行のための基本的知識・技術を修得する ・近藤正英 経済学を中心とした社会科学のアプローチを保健医療政策学へ応用する力をテキスト購読などを通じて涵養する 	
02EX297	社会医学実験実習I	3	2.0	1・2	春ABC	応談		山岸 良匡, 齋藤環, 田宮 菜奈子, 近藤 正英		
02EX298	社会医学実験実習II	3	2.0	1・2	秋ABC	応談		山岸 良匡, 齋藤環, 田宮 菜奈子, 近藤 正英	<p>社会医学研究における基本概念、知識および技術を修得し、その成果を相互発表・質疑応答に対応することにより、修得の程度を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山岸良匡 生活習慣病予防の実地調査に参画し、予防研究の実践例を学ぶ。 ・齋藤環 メンタルヘルスの現状や課題に関する文献を読み、適宜事例も参照しながら、その内容について検討し評価する。 ・田宮菜奈子 最新のテキストを用いてヘルスサービスマネジメント遂行のための基本的知識・技術を修得する ・近藤正英 経済学を中心とした社会科学のアプローチを保健医療政策学へ応用する力をテキスト購読などを通じて涵養する 	
02EX230	臨床試験論	1	2.0	1・2	秋AB	火7,8	4F204	我妻 ゆき子, 五所 正彦	<p>臨床試験は病気に対する新しい治療法や薬の安全性・有効性を検証するために行われる、ヒトを対象とした医学研究である。臨床試験は厳密な科学性と倫理性を兼ね備える必要があるため、GCP(Good Clinical Practice)と呼ばれる基準に則って実施される。本講義ではGCPに沿って臨床試験のデザインから実行までを概観する。</p> <p>目標:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. GCPに準拠した臨床試験の実施ステップについて説明できる。 2. 臨床試験に関する倫理指針を理解し、適切な研究デザインを企画し、実施するための研究プロトコールを作成できる。 3. 臨床試験の実際に関する内容を理解し、その意義と欠点を理解し、その向上のためになる質問や討論をすることができる。 	英語で授業。 その他の実施形態

02EX231	医生物統計学概論	1	1.0	1・2	春AB	水3	4F204	五所 正彦, 丸尾和司	<p>目標:医学研究で用いられる統計手法の理解及びその結果の正しい解釈ができ、自らの医学研究に応用できる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医学研究のタイプを指摘できる。 2. 統計手法の基礎および手法の原理を説明できる。 3. 確率と確率分布の意味を説明できる。 4. 研究目的が定まったとき、相応しい評価項目のデータの形、および相応しい解析手法を選択できる。 5. 解析結果等解釈が困難な結果に対し、解決への考察ができる。 <p>(1) 医学研究の紹介、医学研究の分類について概説する。 (2) データの記述について概説する。 (3) 確率と確率分布について概説する。 (4) 推定と仮説検定について概説する。 (5) 群間比較について概説する。 (6) 相関分析と線形回帰分析について概説する。 (7) カテゴリカルデータ解析について概説する。 (8) ロジスティック回帰分析について概説する。 (9)-(10) 生存時間解析について概説する。</p>	
02EX292	医生物統計学特論	1	2.0	1・2	秋AB	水4,5	4F305	五所 正彦, 丸尾和司	<p>目標:生物統計に関する専門書 Applied Survival Analysis の抄読会を通し、統計手法の理解及びその結果の正しい解釈ができ、自らの医学研究に応用できる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生存時間解析の原理や結果を理解できる。 2. 生存時間データの解析に対して適切な統計手法を選択することができる。 3. 生存時間解析における結果の解釈を正しく説明できる。 	
02EX232	医生物統計学実習	3	1.0	1・2	春A 春B	水5-8	4F305	丸尾 和司, 五所正彦	<p>目標:統計解析ソフトウェアSAS OnDemand for Academicsを使用した医学データ解析の考え方や解析手法を習得する。SAS OnDemand for Academicsを使用して基本的なデータ操作、統計解析を行い、結果の解釈を行うことができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 操作方法、基礎文法について学ぶ。 (2) データセットの作成と管理について学ぶ。 (3) 記述統計とデータの可視化1について学ぶ。 (4) 記述統計とデータの可視化2について学ぶ。 (5) 仮説検定と群間比較について学ぶ。 (6) 線形回帰分析について学ぶ。 (7) カテゴリカルデータについて学ぶ。 (8) ロジスティック回帰分析について学ぶ。 (9) 生存時間解析について学ぶ。 (10) 付加的話題とまとめ。 	授業時間は担当教員に確認のこと。
02EX290	疫学特論	1	2.0	1・2	秋AB	火3,4	4F305	我妻 ゆき子	<p>疫学の原理と応用について学ぶ。情報科学や統計科学を用いて行われる疫学研究や臨床研究への応用についても学び、EBM(Evidence-Based Medicine)の研究に役立たせる。また、疫学的手法を用いた演習を実施し、疫学の実感を理解する。</p> <p>目標:疫学研究の目的、方法、解析結果とその意義について説明できる。</p>	トータル・ヒューマン・ケアに根ざした社会医学専門家養成プログラム学生は必修英語で授業。その他の実施形態